

コード	402030101
記入日	H26.6.4

課コード	115
課名	農林課
課長名	下山 透
担当者	高塚 倫子

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	近代化施設整備補助事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	402	施策名称	農林業の振興	項コード	1
基本事業コード	40203	基本事業名称	農業生産性の向上	目コード	3
事務事業コード	4020301	事務事業名称	近代化施設整備事業費	細目コード	874
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町農業振興奨励事業費補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 農家	(対象指標1) 434戸					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・平成25年度補助金交付実績内訳 →ハウスビニール張替え 5件 →防虫網 1件 →トンネル支柱 0件 →堆肥購入 20,032袋 →管理機 4件 →ハウス新設 2件	***** 補助金交付件数	***** 4件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	計画通り申請のあった団体へ補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・販売用作物の施設化や土づくり対策等による品質向上、農家の増収を図る。		***** 販売農家数	***** 193戸	***** 100%	***** 販売農家指数÷ 目標販売農家数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	施設整備に対して助成することで、販売農家の生産意欲・技術向上を図り、販売農家の育成につながった。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	1,412	1,412	1,408	4	4				
	②									
成果指標	① 戸数	1,740	1,740	1,547	193	193				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	23,333	23,333	19,976	3,357	3,357				
直接事業費 A	千円	17,033	17,033	14,376	2,657	2,657				
人件費 B	千円	6,300	6,300	5,600	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.9	0.9	0.8	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	23,333	23,333	19,976	3,357				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	担い手の高齢化や食の豊かさなどの時代情勢を考慮すると、更なる施設整備が必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	農産物直売所等での出荷販売により地産地消の推進が図られる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	現制度の活用を推進しているので、十分である。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	必要最小限の経費で事業を実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	事業を推進しているためできない。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	整備を行うことで農作業の軽減と効率が図られるが、農産物の品質向上と安定供給に向け、必要性の高い設備整備への支援を行っていくこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。